

## 理事長あいさつ



理事長 船越

### 中期計画の策定について

社団法人に移行して2年目の秋を迎え、センターの業績は順調な歩みが続いています。すなわち、平成18年4月～7月の契約件数は381件と、前年同期に比べて131件、52%も増え、契約金額も2913万円と、590万円、25%伸びました。この結果、仕事に就いてもらった会員は実人員で208人（29人増）延べ人員で6474人日（1211人日増）になり、配分金は491万円多い2465万円をお支払いすることができました。

新しい就業分野への開拓にも努力しています。当面は子育て支援の活動に協力しようと、8月には町が小学校区別に開設している学童保育教室に会員講師を派遣しました。この経験をふまえて、今後はもっと協力会員をふやしていきたいと考えています。

このように、センターの事業は“順風満帆”のように見えますが、決して楽観はしていません。高齢者の雇用情勢は厳しく、国や町の補助金は減ることはあっても増えることは期待できません。センターの運営をさらに堅実なものにしていくために、平成23年を目標年度とする中期計画（5ヶ年計画）を策定することにしました。

センターが直面する最大の課題は就業の場の確保です。会員の誠実な働きを反映して、口コミを中心に一般家庭や事業所からの注文は徐々に増えてはいますが、これで十分とはいえません。ましてや、団塊の世代が60歳を迎える来年以降は入会者数も増えると見えています。中期計画では就業の場の確保に力を入れたいと考えています。

第二の課題は、財政の健全化です。業績が拡大している現状では財政事情もさほど問題はありませんが、成長が止まり、補助金が削減されるとピンチに陥ります。近隣シルバーで続いている会費改定を当センターはどうするか、いまから議論しておいても遅くはありません。

組織の整備、充実も大切です。地域班、職域班を核にして、会員によるセンター運営が円滑に進むような仕組みづくりを行い、事務局体制の充実に力を入れていきたいと考えています。

### 理事会等のうごき



平成18年度第3回理事会 平成18年8月4日（金）

第9号議案 正会員入会申込者の専決処分の承認について  
全議案を可決